



武蔵野市立吉祥寺美術館

黒

大坪美穂

北極光

世界の不屈の詩

2024 4月13日[土] - 5月26日[日]

開館時間 10:00 - 19:30 (休館日 | 4月24日[水])

入館料 300円(中高生100円、小学生以下・65歳以上・障がい者の方は無料)

黒い世界の北極光

大坪美穂

2024 4月13日[土] - 5月26日[日] (休館日 | 4月24日[水])

開館時間 10:00 - 19:30

入館料 300円(中高生100円、小学生以下・65歳以上・障がい者の方は無料)

主催 | 武蔵野市立吉祥寺美術館 [公益財団法人 武蔵野文化生涯学習事業団]

大坪美穂(おおつぼ・みほ)は、人間存在を主題とするアーティストです。現代の問題を鋭敏に感受しながら、重厚な作品空間を創出しています。

最初期には絵画や身体表現に取り組んでいた大坪ですが、家族の死と誕生、自らの病、人間の尊厳を揺るがすできごとの見聞といった経験をとおして、表現の手法を変化させていきました。近年では、自ら収集し染めた古布、ニューズペーパーと和紙による紙漉り、薄い鉛板などを素材にもちいて制作しています。大坪の作品とは、あまねく必然としての創造であり、大坪自身の生の実証であるといえるでしょう。

大坪の作品をかたるうえで特筆すべきは、その素地にある「ことば」です。大坪の表現の源流には、彼女が豊富な読書経験や詩作などからとらえたさまざまなことばが存在しています。わけても、ドイツ系ユダヤ人の詩人パウル・ツェラン(1920-1970)、アイルランド語によって詩作する女性詩人ヌーラ・ニー・ゴーノル(1952-)の詩は、大坪の血肉になっているといっても過言ではありません。大坪がふたりの詩から受けとった深い感動は大規模なインスタレーションとして発露し、20年超にわたって国内外の各地で展開され、多くの人びとの心を引きこみながら、広がりつと深化をつづけています。

終戦直後の荒廃した街並みが原風景であると語る大坪は、いかなる局面にあっても、作品にあらわすことによって、確かな生をつかもうとしてきました。本展のタイトルとして大坪が選んだことば「黒いミルク」はツェランの詩「死のフーガ」に依拠し、「北極光」「この世界の不屈の詩」はニー・ゴーノルの詩「北極光」*から引いています。言うなれば闇と光とが並立するタイトルですが、ここには、割り切れぬ人間のありようと、それを直視しつつ希望を見失わない大坪の力づよとが、示されているように思います。

吉祥寺は、大坪が学生時代を過ごした思い出深い地であり、創造の起点でもあります。このたび満を持して当館において構成されるインスタレーションは、大坪の仕事の集大成であると同時に、皆さまとともに踏み出す、生へのあらたな一歩となるに違いありません。

* Nuala Ni Dhomhnaill translated by Peter Fallon from *Northern Lights* (2018) is reproduced by kind permission of The Gallery Press. www.gallerypress.com / 日本語訳は大野光子氏による

[関連イベント]

01

対談① 光田ゆり [多摩美術大学アートアーカイヴセンター所長・同大学院教授、プーアル舎主宰] 大坪美穂

日時: 4月21日[日] 14:00-15:00 *開場 13:45

会場: 吉祥寺美術館 音楽室

- 定員60名
- 予約不要、先着順、当日の入館券が必要

02

コラボレーションダンス 深谷正子 [ダンサー・振付家]

日時: 4月27日[土] 15:00-16:00

会場: 吉祥寺美術館 企画展示室

- 予約不要、作品とともにご鑑賞いただけます(当日の入館券が必要)
- 混雑状況によっては、安全のため入室制限をおこなう場合がありますので、予めご了承ください(同時入室上限25名程度)

03

対談② 大野光子 [愛知淑徳大学名誉教授(アイルランド文学・文化専攻)]・大坪美穂

日時: 5月11日[土] 14:00-15:00 *開場 13:45

会場: 吉祥寺美術館 音楽室

- 定員60名
- 予約不要、先着順、当日の入館券が必要

[特別展示]

大坪美穂 一言葉は風となり

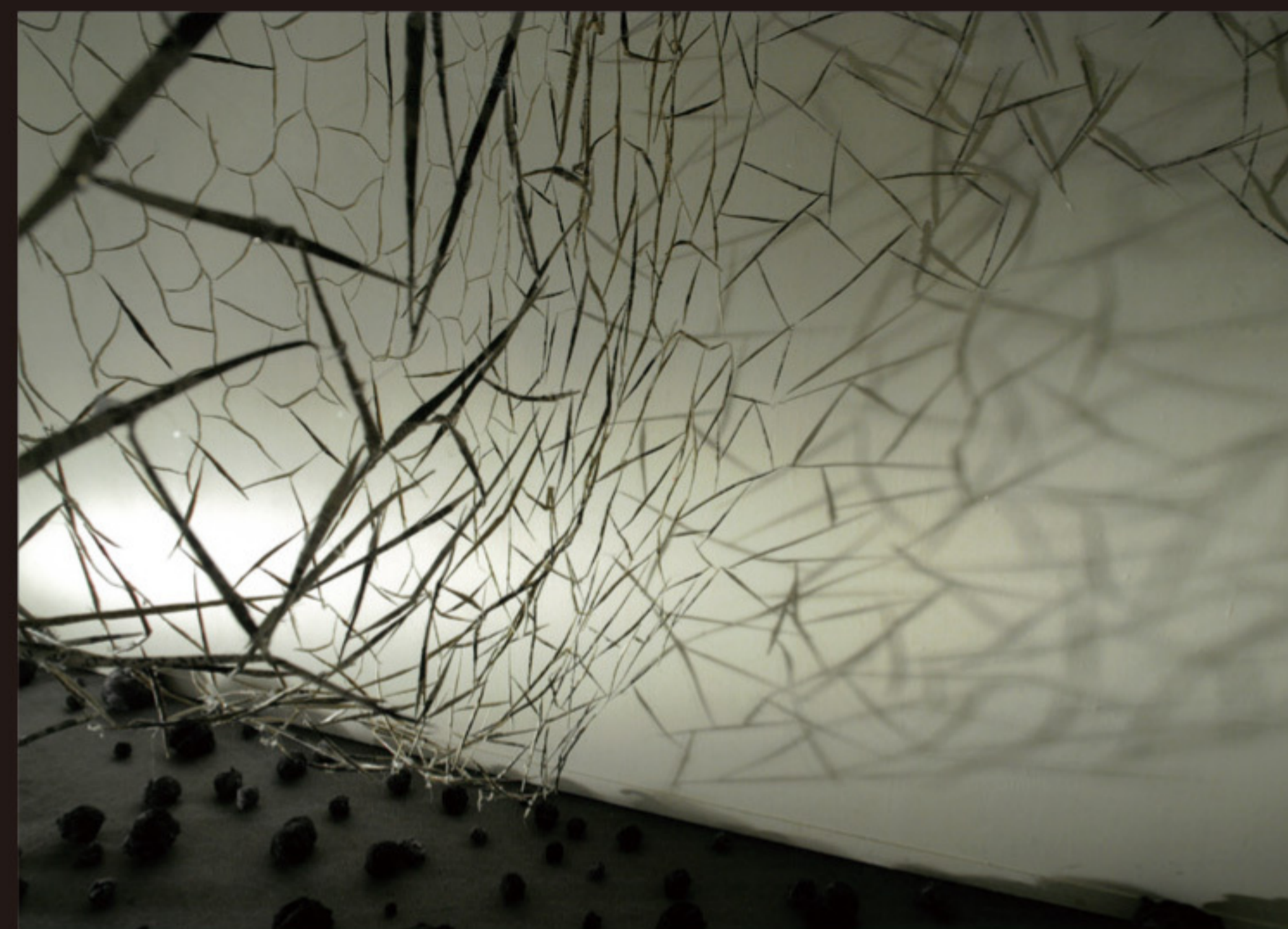
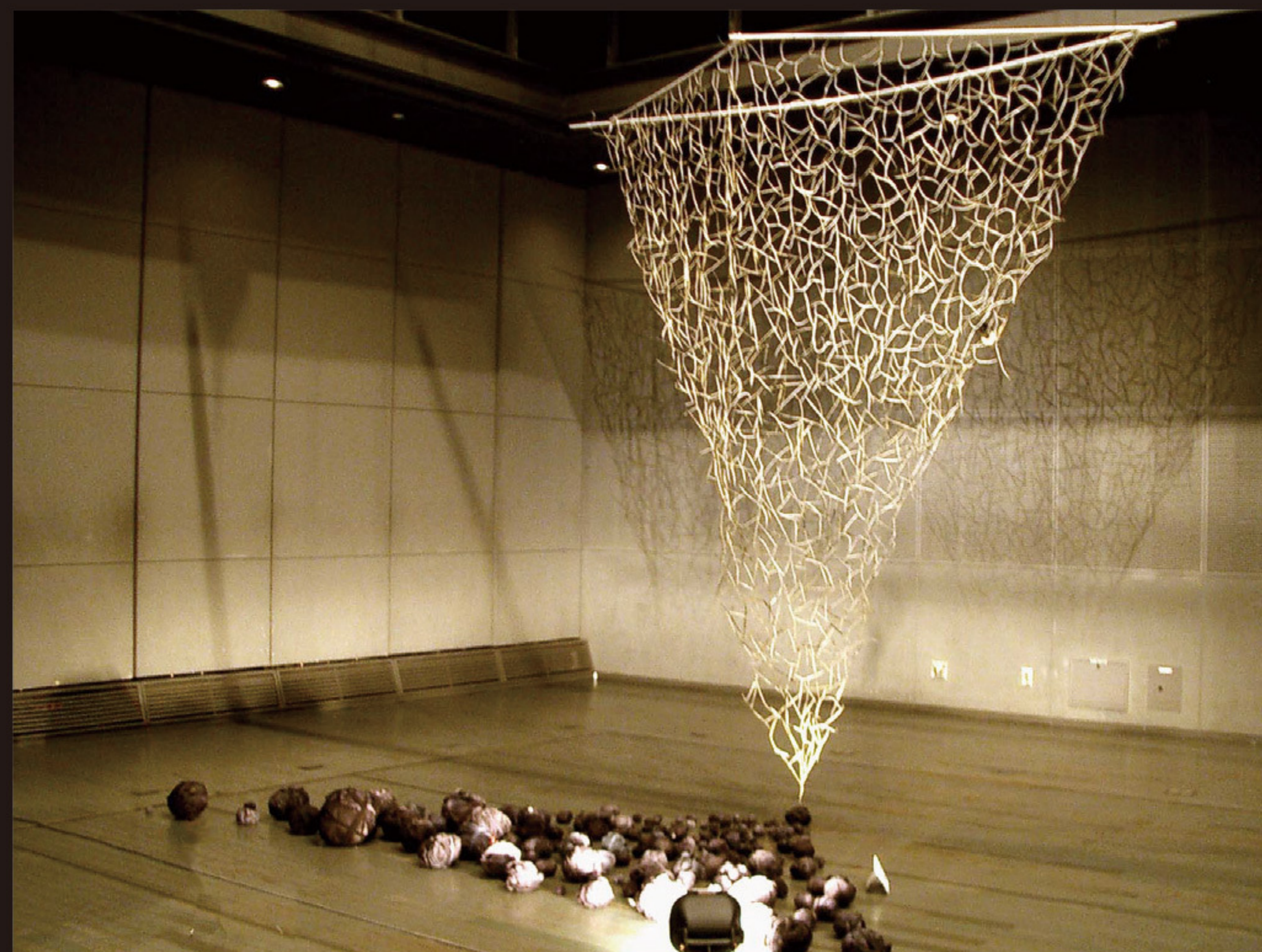
日時: 4月26日[金]-5月2日[木] 11:00-18:00 *初日14:00から、最終日15:00まで

会場: PENNY LANE GALLERY (コピス吉祥寺A館1階 *美術館と同じ建物)

- 入場無料 期間中無休

●関連イベントおよび特別展示についてのお問い合わせ、お申込みはすべて吉祥寺美術館へ

●申込・問合せ 電話0422-22-0385(受付時間10:00-19:30)



上:「第3回CAT展」(グリーンホール相模大野)展示風景 2003年 ©Kikuko Kashiwagi

中:「大坪美穂展—SILENT VOICE—」(ギャラリー・すずき)展示風景 2004年 ©Masataka Nagano

下:「今日の反戦展」(原爆の図丸木美術館)展示風景 2005年 ©Kikuko Kashiwagi

表:「大坪美穂展—海界—」(香美市立美術館)展示風景 2008年 ©Kei Uesugi

武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 コピス吉祥寺A館7階

JR線・京王井の頭線 吉祥寺駅 北口より徒歩約3分

tel.0422-22-0385 / fax.0422-22-0386

<https://www.musashino.or.jp/museum/>

※美術館専用の駐車場はありません



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団